

事業所名 柿が丘学園

公表日 令和7年 3月 31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11		・机上活動時や給食時にぞう・ぱんだグループの部屋が狭く感じることがあるが、配席の工夫で対応している。 2 ・利用人数に合わせて環境設定の工夫を行っている。	・今までのやり方で給食や机上・グループのお話場面を設定しているが、保護者もいるなか、狭いと感じることもある。 併用利用が多い日は、机上活動時や給食時に窮屈な時がある。
	2 利用定員や子供の状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13	0	・配置基準に準じている。	・基準は満たしているが職員間の連携や立ち位置などの配慮が足りず、職員一人一人の意識の改善が必要と感じる。 ・適切であるが、会議や研修等で途中手薄な感じになることもある。 ・配置数は適切であるが、職員ひとりほとりの立ち位置や視野の持ち方が不足し、配慮が足りなかった場面があったため、改善していきたい。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	4	・学園の一日の流れ自体がわかりやすく構造化されたものになっている。また、個々の生活自立にの目的に合わせてお子さんにあった環境設定をしている。 ・ロッカーなどの表示は工夫している。	・毎日同じ流れで活動しているから構造化しているように見える。しかし、それぞれの特性に応じているとは言えないと思う。 ・窓の大きい所では、場面によっては、視覚的な刺激になることがあるように感じる。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか。	11	2	・療育後に床と机椅子の清掃、早朝にトイレ等の清掃・消毒を行っている。戸外の環境設定も職員が協力して行っている。 ・扉のレールや窓のサッシなど、普段掃除が行き届きにくいところも意識して清掃する。 ・毎日の清掃や汚れた時の対応は実施できている。こども目線より細かい箇所に配慮する必要性も感じる。	・清掃と消毒など毎日徹底するよう努めているが、管理員不在なこともあり窓ガラスや桟など細かい所の掃除がいき届いていない。 ・もっと綺麗にしたいと思うところが多々ある。衛生面を配慮するのであれば、掃除に集中できる時間が欲しい ・場所によっては汚れがあるところがあった。

	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できなくはないが、難しさを感じる一方臨機応変に対応しているので、連携を図ることで可能になると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもの要求に応じて使用可能であるが、個別のためリースペースがないためこどもの要求を十分満たすことができない。</li> </ul>
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見は一部の職員に限られたり、個人の裁量に委ねられたりしている。職員一人一人の意識と反映できる環境改善が必要である。</li> <li>・業務量が多く、分かっているにもかかわらず実践できないことが現状なのだと思う。</li> <li>・すべての業務にPDCAサイクルの考え方を取り入れたわけではなかった。</li> <li>・個別支援計画作成時だけでなく、日々のカンファレンスで有効な振り返りができるとよい</li> </ul>
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の意向が業務改善につながっているか、日々保護者と話をすることで確認したり対応したりするよう努めている。</li> <li>・毎年実施している。今年は特に保護者からのヒアリングに注力している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの結果が周知されていない</li> </ul>
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のカンファレンスや会議で意見交換を行っている。</li> <li>・園長との面談で意見や相談をすることができる。</li> </ul>	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三者委員の評価を頂いているが少数のため、『広く』という視点で検討が課題となる。</li> <li>・監査結果は周知されたが、誰が何をどのように改善すべきなのか周知しないと伝わらない</li> </ul>
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・希望者向けの支援の質を高める研修と事業所としての基準を満たすために必要な研修のどちらも行っている。</li> <li>・業務の合間に時間を決めてコンパクトになされている。</li> </ul>	

11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	12	1		・利用者には入園時に口頭にて説明しているが、書面などで一覧化し、見える化しての公表が課題である。 ・公表はされているが、その意図がなかなか伝わっていない。丁寧な説明が必要だと思う。
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	12	1	・対象児が低年齢のためニーズの把握には困難さがある。こどもの行動からニーズが把握できるよう観察力の精度を高めるよう努めている。アセスメント時、併用先施設の情報も取り込む工夫が必要と感じる。 ・お子さんとご家庭の実態に合わせて必要に応じて保護者の理解の上で保育園を交えた聞き取りを行う等、積極的に情報を集め、支援計画作成をしている。 ・当人のニーズを分析した結果の計画になっているのか判断に迷う。しかし、努力はしているつもりである。	・複数職員でアセスメントを行うことで、より全体的に分析できると思う。
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	・職員ひとりひとりがお子さんの見立てを伝えあい、目標の共通理解を持てるような会議や検討を今後も続けたい。	・必ず支援会議を開催し職員全体で立案しているが、意見が一部の職員に限られることがある。専門職として意見交換する努力が必要と感じる。 ・検討しているが、全ての職員が発言しやすいような雰囲気作りの改善は必要だと思う。
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	・個別支援会議に参加できなかった職員については、会議録等で共通理解が持てるようにしている。 ・職員間での共通理解が出来るよう工夫している。	・計画が形骸化しないよう、職員一人一人が意識しながら療育にあたる必要がある。 ・人や職種によって解釈が異なるのが難点。その分、より具体的に支援方法を考えるべきだと思う。
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや日々の行動観察なども含むいんふーまなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1	・アセスメントシートに沿って聞き取りを行っている。また、正規職員の心理士が配置され、昨年度よりも発達チェックの精度が向上している。 ・発達の指標を参考にして観察を行っている。	・確認はしているが、偏ったアセスメントになりがちなのは懸念する。公平に様々な子について共有できるとより良い気がする

適切な支援の提供

16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのうえで、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されている。そのお子さんに合わせた記載となっている。</li> <li>・個別支援計画に具体的に記載するよう個別支援会議で検討している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「将来を見据えての移行支援」について記載する必要がある。将来を見据えるためにはこどもの観察力が重要でありスキルアップが課題である。</li> <li>・会議で意見を出し合いながら具体的に設定し、実行もしている。しかし、発言しにくい雰囲気や時間の改善は必要だと思う。</li> </ul>
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集団活動、個別の机上活動の内容はグループ毎によく検討していると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・立案したり意見を出したり、それを採用されたりする人に差があるのでチームでは言いにくい。</li> </ul>
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ある程度固定化してお子さんに慣れてもらい、活動を理解してもらおう目的があるが、必要な部分は変化を付けたり活動を組み合わせる工夫をしている。</li> <li>・活動の流れは決まっているが、内容は季節や目的によってチームで話し合い、工夫している。</li> <li>・季節のイベントや子どもの様子に合わせて職員全体で考えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫はしているが発達段階や特性を考えるとプログラムの一定化も大切である。こどもに応じて柔軟性を意識する必要がある。</li> <li>・今までのやり方・考え方が先行しているような気がする。</li> </ul>
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜君合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自由な遊びの時間(個別活動)に手薄なことが多く、安全確保で精一杯。</li> </ul>
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な検討が行われていると思う。連携についても一人一人の意識が大事だと思う。</li> <li>・打ち合わせ、カンファレンスノート等で情報共有、共通理解をする工夫をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必ずではない。知らずに行われていることも多いし、暗黙の了解でその日の担当みたいなのが決まってしまう。</li> </ul>
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日のカンファレンスで出来ているところは良い。それがどれだけ、パートの方とか全職員に周知できているのか不安になる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返った内容について共有しているが、次にどう活かすのか次にどうつなぐのかが課題である。</li> </ul>
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エピソードも交えながら、初めてその記録を見た人にも伝わるような書き方を工夫している。</li> <li>・個別支援計画に基づいた記録や、振り返った時に分かりやすい記録を心がける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・記録に時間が費やされている現状にある。要点を絞り目的(検証・改善につなげるようなとり方)を持った記録となるよう改善する必要がある。</li> </ul>

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解したものが参画しているか。	12	0	・グループの正規職員+責任者で参画し、最近の様子を伝えられるようにしている。	
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育党の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1	・相談支援事業所 柿が丘学園の職員に連絡を取ってもらったり、必要な時は子ども家庭センターと連絡を取り合っている。	・どこまで連携できる体制でいるのか、分からないことが多い。その都度確認していかなければいけないと思う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	・年々併用利用の方が増えていおり、今年度はインクルージョンを意識して対応した。施設の特長などを考慮し、柔軟な対応となるよう工夫した。 ・支援担当者会議を行っている。職員が来園し、様子を確認することもある。 ・個別支援計画のアセスメントをこども園も交えて三者で行い、目標の確認や相互理解を図るよう努めている。	・図っていると思うが、園によって、子どもによって差がある気がする。SOSを出せる保護者ばかりではないことを配慮していくことも必要だと思う。
	27	就学等の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	・就学支援については仕組みが定着し、一人一人のケースについて専門相談員と連携を図り、相談から情報交換まで丁寧な支援ができることが強みである。 ・主にすこやかファイルを使った引継ぎ会を行っている。	
		28~30は、センターのみ回答				
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等との連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	10	1		・取組は行っているが、部門、職種によっては、より連携を強化する必要がある。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	11	0	・定期的に長岡療育園のSTから助言を受けている。	・外部研修については充実しているが、専門家や専門機関からの助言の仕組みがない。どのように入ってもらうのかなど今後の検討課題である。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	5	6		・どの程度参加しているのか、正直わからない。 ・参加しているか分からない。
		31は、事業所のみ回答				

31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	11	・保育園等の併用通園がこれに当たると思うが、している子としていない子がそれぞれいるのが現状。	・全くない。近くに公立園があるので、機会があってもよい気がする。しかし、難しさがあるのもわかる。 ・他園や他施設の子ともと交流する機会はなかった。
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	12	0	・送迎時や母子利用時に伝え合う機会が持っている。	・一生涯職員が対応していると思う。保護者や子どもによって差が出ないようにの改善は必要だと思う。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	6	・ペアトレとして行ってはいないが、個別支援計画の家族支援の欄を設け、母子通園や個々の相談に応じて行っている。 ・プログラムとしては行ってないが、個別に相談する場面はある。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13	0		
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	12	1	・直接お会いする機会の少ない保護者さんには連絡帳や電話を通じて家庭や併用通園先での様子をお聞きし、必要な支援が出来るように心がけている。 ・いつでもご家族等からの話を聞き、一緒に考えていきたい。職員間で検討する必要があるときは、お時間をいただき、話あったうえで、お返事したい。	・聴き取りやモニタリングはしているが、定期的に相談に応じているのか、疑問ではある。
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	11	1		・保護者会等の支援はあるが、きょうだい同士の支援はない。

保護者への説明等

40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者からの相談は最優先し、できる限り迅速かつ丁寧な対応を心掛けている。保護者からのご意見は真摯に受け止め適切に対応できるよう努めている。</li> <li>・グループ職員、責任者、園長、保護者の申し出に合わせて対応し、必要な情報と対応する上で心がける点をポイントをカンファレンスにて共有した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力はしているが、職員間で十分に周知されないまま対応がされていることも多い。</li> </ul>
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月たよりがある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面での情報発信に限られている。個人情報の観点からHP・SNSについては慎重に検討する必要があり、現時点では必要性を感じていない。</li> <li>・連絡体制や保護者への発信はアナログすぎる。公立園と同じ程度のデジタル化は必要だと思う。</li> </ul>
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			
43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の目的に応じた視覚支援を行っている。言葉だけでなく、視線、表情、行動などから気持ちを察しながら配慮している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもとの意思疎通・情報伝達については日々かかわる中で最も重要であり苦慮している。職員の資質を問われるところでもあり、スキルアップを意識する必要がある。</li> <li>・もっと視覚支援をする</li> </ul>
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の要請には対応しているが、積極的に招待する等の必要性はあまり感じていない。</li> </ul>
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練は充実しているが、策定したマニュアルの周知については不足であり、検討する必要がある。</li> <li>・家族、保護者への周知はしていくべきだと思う。</li> </ul>
46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園時に看護師を交えて確認し、服薬の際も立ち会っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確認しているが、看護師に一任しているところもある。対応マニュアルを定期的に確認すべきだと思う。</li> </ul>

非常時等の対応

48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13	0	・アレルギー食対応をしつつも、療育的視点からお子さんの自立や対人表現が身に付くような環境設定をしている。	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		・訓練時のみでなく、日頃から安全管理について意識したい。
50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		・周知方法については検討が必要である。
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13	0	・怪我我だけでなく、失念等の業務上の過失に関することも作成するようにしている。	・『ヒヤリハット報告書』で職員全員に周知しているが、形骸化していないか見直す必要がある。 ・書いている職員に差がある。全職員にその必要性を周知すべきだと思う。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0		・研修機会はあるが虐待定義が難しいため、日々職員間で行動の振り返りをし互いに意見できる関係作りが必要である。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	5	・記載はしていないが、身体拘束をしてはいけないこと、それは周知されている。 ・身体拘束は実施していない。	・『身体拘束はしない、ないもの』という認識で支援しているが、意識して対応するためにも支援計画に記載するよう改善が必要である。 ・計画には記載していない。

\*無回答があり、回答数に一致しない項目があります